



Copyright © 2013 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. 共通仕様
 - 3.1. クローラ
 - 3.2. ファセット
 - 3.3. 閲覧可能権限
- 4. インフォメーション記事 全文検索機能
 - 4.1. インフォメーション記事クローラ
 - 4.2. コンテンツ作成対象
 - 4.3. コンテンツの情報
 - 4.4. ファセット
 - 4.5. 閲覧可能権限
 - 4.6. 検索結果表示項目
- 5. ファイルライブラリファイル 全文検索機能
 - 5.1. ファイルライブラリクローラ
 - 5.2. コンテンツ作成対象
 - 5.3. コンテンツの情報
 - 5.4. ファセット
 - 5.5. 閲覧可能権限
 - 5.6. 検索結果表示項目

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-07-01	初版
2014-04-01	第2版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none">「ファイルライブラリファイル 全文検索機能」にファイルのダウンロードに関する記載を追記
2015-12-01	第3版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none">目次構成を変更しました。
2017-08-01	第4版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none">「共通仕様」にupdateCountに関する注意事項を追記
2020-04-01	第5版 下記を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none">「インフォメーション記事 全文検索機能」の説明を修正「ファイルライブラリファイル 全文検索機能」の説明を修正
2020-12-01	第6版 下記を追加しました。 <ul style="list-style-type: none">英語ロケール画像を追加

項目

- [本書の目的](#)
- [対象読者](#)
- [本書の構成](#)

本書の目的

本書では intra-mart Accel Collaboration の各機能の全文検索の機能概要と仕組の詳細について説明します。

対象読者

次の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Collaboration の各機能の全文検索機能（IM-ContentsSearch）を管理する運用担当者

次の内容を理解していることが必須です。

- intra-mart Accel Platform の仕様
- IM-ContentsSearch の仕様
- インフォメーションの仕様（インフォメーション機能の全文検索を利用する場合）
- ファイルライブラリの仕様（ファイルライブラリ機能の全文検索を利用する場合）

本書の構成

本書は次の構成です。

- [共通仕様](#)
intra-mart Accel Collaborationの各機能の全文検索機能の共通的な仕様について説明します。
- [インフォメーション記事 全文検索機能](#)
インフォメーション全文検索機能の仕様について説明します。
- [ファイルライブラリファイル 全文検索機能](#)
ファイルライブラリ全文検索機能の仕様について説明します。



コラム

用語解説

Storage として使用するディレクトリを %PUBLIC_STORAGE_PATH% と略します。

この章では、intra-mart Accel Collaboration の各機能の全文検索機能における共通的な仕様について説明します。

項目

- クローラ
 - 差分クローリング
 - 削除クローリング
 - 再作成クローリング
 - 最終クローリング日時
- ファセット
- 閲覧可能権限
 - 全文検索時の閲覧権限
 - 各機能の情報に対する権限

クローラ

intra-mart Accel Collaboration の各機能のコンテンツを作成するためのクローラはジョブスケジューラ機能のジョブとして提供しています。

各機能のクローラのジョブはテナント環境セットアップ時に「Accel Collaborationクローラ」ジョブカテゴリに登録されます。

ジョブカテゴリID iac-crawler-job-category

カテゴリ名	Accel Collaborationクローラ
-------	-------------------------

各機能のクローラのジョブは標準で以下のジョブネットにより登録されています。

- 差分クローリング (ジョブネットID: crawler-delta-jobnet)
- 削除クローリング (ジョブネットID: crawler-delete-jobnet)
- 再作成クローリング (ジョブネットID: crawler-reindex-jobnet)

差分クローリング

差分クローリングのジョブネットが実行されたとき、各機能のクローラの差分クローリングが実行されます。

差分クローリング実行時の実行パラメータ

差分クローリング実行時には差分クローリングのジョブネット、および各クローラのジョブ情報に設定されている以下の実行パラメータが利用されます。

キー	説明
crawlingType	クローラの動作タイプを設定します。"DELTA"である場合のみ差分クローリングが動作します。
groupName	処理対象とする検索サーバグループIDを指定します。
maxSegments	最適化の度合いを設定します。
updateCount	Solrサーバへのコミット 1 回あたりに登録するコンテンツの件数
withCommit	処理終了時に更新データを確定するかを設定します。
withOptimize	処理終了時にデータの最適化をするかを設定します。



注意

updateCountの数値が大きい場合、Solrサーバへのコミット1回あたりに登録するコンテンツの件数が増加するため、Solrサーバへの負荷が高くなりパフォーマンスに影響があります。

削除クローリング

削除クローリングのジョブネットが実行されたとき、各機能のクローラの削除処理が実行されます。

削除クローリング実行時の実行パラメータ

削除クローリング実行時には削除クローリングのジョブネット、および各クローラのジョブ情報に設定されている以下の実行パラメータが利用されます。

キー	説明
crawlingType	クローラの動作タイプを設定します。"DELETE"である場合のみ削除処理は動作します。
groupName	処理対象とする検索サーバグループIDを指定します。
maxSegments	最適化の度合いを設定します。
withCommit	処理終了時に更新データを確定するかを設定します。
withOptimize	処理終了時にデータの最適化をするかを設定します。

再作成クローリング

再作成クローリングのジョブネットが実行されたとき、各機能のクローラの再作成処理が実行されます。

再作成クローリング実行時の実行パラメータ

再作成クローリング実行時には再作成クローリングのジョブネット、および各クローラのジョブ情報に設定されている以下の実行パラメータが利用されます。

キー	説明
crawlingType	クローラの動作タイプを設定します。"REINDEX"である場合のみ再作成クローリングが動作します。
groupName	処理対象とする検索サーバグループIDを指定します。
maxSegments	最適化の度合いを設定します。
updateCount	Solrサーバへのコミット 1 回あたりに登録するコンテンツの件数
withCommit	処理終了時に更新データを確定するかを設定します。
withOptimize	処理終了時にデータの最適化をするかを設定します。



注意

updateCountの数値が大きい場合、Solrサーバへのコミット1回あたりに登録するコンテンツの件数が増加するため、Solrサーバへの負荷が高くなりパフォーマンスに影響があります。

最終クロール日時

クローラでは、処理が正常終了した場合にクローラの最終実行日時をファイルに保存します。差分クローリング実行時にはこのファイルを参照し、前回の実行日時より後にコンテンツの登録・更新対象となったスレッドを抽出します。

日時のフォーマットは "**yyyy-MM-dd HH:mm:ss**" です。

最終クロール日時を保存するファイルは、クローラジョブの初回正常終了時にPublicStorageに保存されます。

削除クローリングが実行された場合、最終クロール日時は "**2000-01-01 00:00:00**" に初期化されて保存されます。

ファイルの保存先は各機能のクローラによって異なります。

初回実行時の動作仕様

初期状態の場合、最終クロール日時を保存するファイルは存在していません。

この場合、既定値として"2000年1月1日0時0分0秒"を最終クロール日時として動作する仕様です。

初回実行時の対象日時を明示的に指定したい場合は、上記ファイルを作成して対象日時を上記の日時フォーマットにて設定してください。

ファセット

各機能のクローラでは、作成されたすべてのコンテンツに対して"Collaboration"というファセットを適用します。

その他のファセットは各機能に応じて適用されます。各機能のクローラが適用するファセットについては、各機能の「ファセット」の項を参照してください。

閲覧可能権限

各機能のクローラはジョブ実行日時時点での権限を判定し、コンテンツに対して閲覧権限を適用します。

全文検索で閲覧可能なコンテンツはCollaboration管理者・機能管理者・オーナーの各ロールの付与の有無は関係なく、各機能の一般ユーザの閲覧権限により参照できる情報と同一です。

各機能の情報に対する権限

検索結果に表示されたコンテンツの画面表示・処理を行うことができるかどうかは intra-mart Accel Collaboration 各機能の一般ユーザ利用時の権限により判定されます。

インフォメーション記事 全文検索機能

インフォメーション機能に登録された記事の全文検索機能に関する仕様について説明します。

項目

- インフォメーション記事クローラ
 - 差分クローリング
 - 削除処理
 - 再作成処理
- コンテンツ作成対象
- コンテンツの情報
 - 標準フィールド
 - 動的フィールド
- ファセット
- 閲覧可能権限
- 検索結果表示項目

インフォメーション記事クローラ

コンテンツ作成対象となっている記事のクローリング処理を行うジョブです。

最終クロール日時保存場所

インフォメーション記事クローラは最終クロール日時をPublicStorageの以下のファイルに保存します。

- %PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/im_contents_search/store/%テナントID%/last_crawling_date/iac\$information.json

差分クローリング

差分クローリング時の登録・更新対象

差分クローリング実行時にコンテンツの登録・更新の対象となる記事の条件は以下の通りです。

最終クロール日時以降で以下のいずれかの条件を1つでも満たす記事について、コンテンツの登録または更新が行われます。

- 条件1 : 新たに登録された記事
- 条件2 : 掲載開始前に更新された記事
- 条件3 : 掲載開始後に追記された記事
- 条件4 : 付与する共有タグが1つ以上ある状態で共有タグが更新された記事
- 条件5 : クロール実行日時時点で掲載開始日時を過ぎている記事
 - 掲載開始日時が最終クロール日時以降（最終クロール日時を含まない）、かつ、掲載開始日

時がクローラ実行日時以前（クローラ実行日時を含む）の記事

- 条件6：クローラ実行日時時点で掲載終了日時を過ぎている記事
 - 掲載終了日時が最終クローラ日時以降（最終クローラ日時を含まない）、かつ、掲載終了日時がクローラ実行日時以前（クローラ実行日時を含む）の記事



注意

最終クローラ日時以降に共有タグをすべて付与解除して保存された記事は、コンテンツの更新対象ではありません。

ただし、共有タグがすべて付与解除されている場合でも、条件4以外を満たす記事はコンテンツの更新対象です。

すべて付与解除されて更新対象にならなかった記事を全文検索画面で検索結果表示した場合、付与解除された共有タグが表示されます。

コラム

記事の掲載開始日時と掲載終了日時を指定して登録した記事での差分クロール実行例

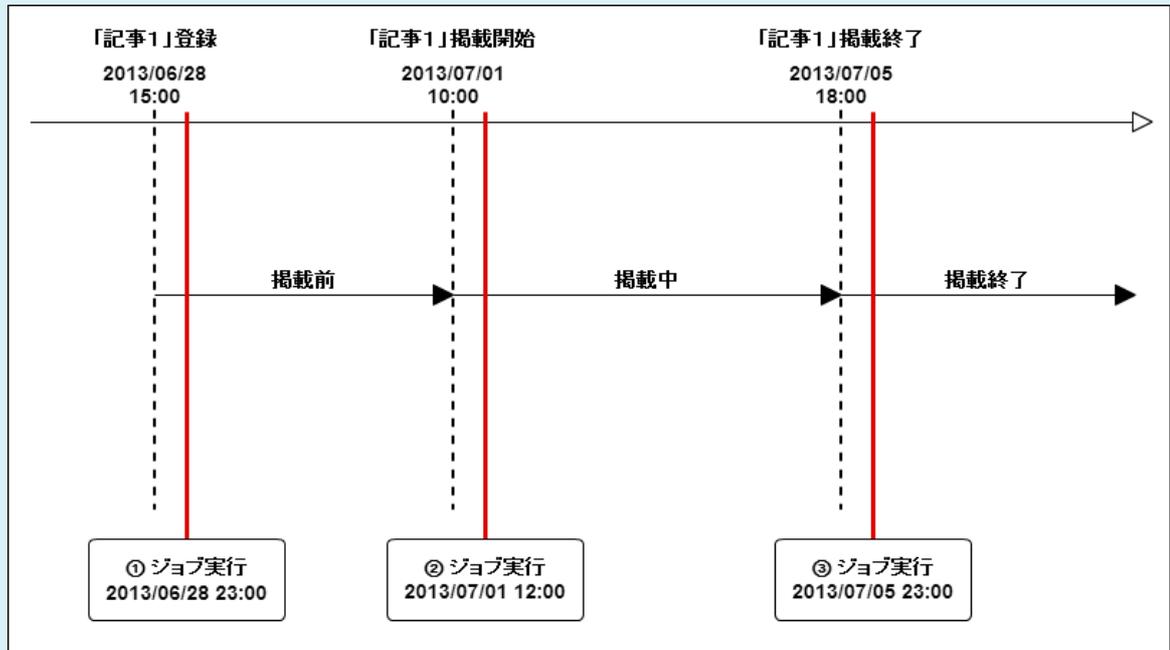
タイトル：「記事1」

記事登録日時：2013/06/28 15:00

掲載開始日時：2013/07/01 10:00

掲載終了日時：2013/07/05 18:00

※記事登録後、更新・追記・共有タグ付与は行われません。



① 差分クロール実行 (2013/06/28 23:00)

記事1が新たに登録されてからのジョブ実行であるため、条件1を満たしているのでコンテンツが登録されます。

掲載開始前であるため、全文検索で閲覧可能なユーザは記事1が登録されているカテゴリアクセス権での「登録」が許可されている必要があります。

② 差分クロール実行 (2013/07/01 12:00)

②でのジョブ実行日時が記事1の掲載開始日時を超過しているため、条件5を満たしているためコンテンツが更新されます。

掲載期間中であるため、記事1が登録されているカテゴリの「閲覧」がアクセス権で許可されているユーザは全文検索で閲覧可能です。

③ 差分クロール実行 (2013/07/05 23:00)

③でのジョブ実行日時が記事1の掲載終了日時を超過しているため、条件6を満たしているためコンテンツが更新されます。

掲載が終了しているため、全文検索で閲覧可能なユーザは記事1が登録されているカテゴリのアクセス権で「登録」が許可されている必要があります。

インフォメーション記事クローラが作成したコンテンツをすべて削除します。

また、最終クローラ日時を "2000-01-01 00:00:00" に初期化して保存します。

再作成処理

インフォメーション記事クローラが作成したコンテンツをすべて削除し、作成対象の記事のコンテンツを再度登録します。

コンテンツ作成対象

インフォメーション記事クローラは一時保存記事を除くすべての記事がコンテンツ作成対象です。

コンテンツの情報

インフォメーション記事クローラでは記事情報を以下の内容で登録します。

標準フィールド

No	フィールド名	設定値	備考
1	ID	iac_%記事ID%	コンテンツを一意に識別するIDです。
2	TYPE	iac iac\$information iac\$information\$%カテゴリCD%	コンテンツのタイプです。
3	URL	collaboration/information/user/article/reference/show/% 記事ID%	記事表示画面のURLです。
4	ID_ORIGINAL	記事ID	コンテンツの元データにおける一意なキーとなるIDです。

No	フィールド名	設定値	備考
5	TITLE	記事タイトル	コンテンツのタイトルです。
6	TEXT	記事本文（装飾なし） 追記記事本文（装飾なし）	コンテンツの主となるテキストデータです。
7	ATTACHMENT	添付ファイル名 添付ファイル内のテキストデータ	
8	RECORD_DATE	記事の更新日時	



注意

2019 Winter以前のバージョンでは、RECORD_DATEの設定値は記事の登録日時が登録されます。

動的フィールド

No	フィールド名	設定値	備考
1	REGISTER_USER_CD_STRING	記事登録ユーザコード	
2	REGISTER_USER_NAME_STRING	登録ユーザ名	
3	CATEGORY_CD_STRING	カテゴリコード	
4	SHARED_TAG_CD_STRING_MLT	共有タグコード	
5	SHARED_TAG_NAME_STRING_MLT	共有タグ名	
6	APPENDIX_CD_STRING_MLT	追記記事コード	
7	APPENDIX_USER_CD_STRING_MLT	追記ユーザコード	
8	APPENDIX_USER_NAME_STRING_MLT	追記ユーザ名	
9	END_DATE_DATE	掲載終了日時	
10	SYSTEM_MATTER_ID_STRING	システム案件ID	現在未使用です。



コラム

タイトル (TITLE)、テキスト(TEXT)、添付ファイル(ATTACHMENT)に登録した内容が検索時に検索対象となるフィールドです。

インフォメーション記事クローラではコンテンツ作成時に以下のファセット分類を適用しています。

インフォメーション

インフォメーション記事クローラで作成されたすべてのコンテンツに対して"インフォメーション"というファセットを適用します。

カテゴリ名

"インフォメーション"のファセットを適用したコンテンツに対して、更にカテゴリ名のファセットを適用します。



コラム

インフォメーション記事クローラが全文検索画面に提供するファセットナビゲーションの例

全文検索画面の検索結果にインフォメーション記事のコンテンツがある場合、以下の様なファセットナビゲーションが全文検索画面の左部に表示されます。
リンクを選択することで検索結果の絞り込み検索を行うことができます。

絞り込み条件

- Collaboration (2)
- インフォメーション (2)
- 営業部 (2)

閲覧可能権限

作成されたコンテンツの閲覧を許可する権限は、カテゴリに設定されているアクセス権と同じ権限が適用されます。

ユーザが検索を実行したときに検索対象となる記事は、そのユーザに許可されているカテゴリのアクセス権で「登録」または「閲覧」が許可されているカテゴリの記事です。

検索結果表示項目

インフォメーション記事クローラが作成したコンテンツの検索結果で全文検索画面に表示されるコンテンツの表示項目は以下です。

- タイトル (記事タイトル)
- 記事更新日時
- 登録先カテゴリ

- 記事登録者名
- 追記登録者名
- 共有タグ
- 要約

要約表示の指定をして検索した場合に表示されます。

要約は検索条件の文字列がカラーでハイライトされて表示されます。



注意

2019 Winter以前のバージョンでは、記事更新日時ではなく、記事の登録日時が表示されます。

検索結果画面例

新商品発表会開催のお知らせ

2013/06/21 16:05:38 Collaboration > インフォメーション > 社内全体

記事登録者: 青柳辰巳 追記登録者: 青柳辰巳

先日役員会議で決定した発表会の概要についてお知らせします。新商品発表会 内容:新商品発表会 主催:サンプル会社 東京会場:2013年07月01日(月) 13:30~17:00 大阪会場:201



コラム

検索結果のタイトルリンクをクリックすると、新しいウィンドウで「記事詳細」画面を表示します。

ファイルライブラリファイル 全文検索機能

ファイルライブラリ機能に登録されたファイルの全文検索機能に関する仕様について説明します。

項目

- ファイルライブラリクローラ
 - 差分クローリング
 - 削除クローリング
 - 再作成処理
- コンテンツ作成対象
- コンテンツの情報
 - 標準フィールド
 - 動的フィールド
- ファセット
- 閲覧可能権限
- 検索結果表示項目

ファイルライブラリクローラ

コンテンツ作成対象となっているファイルのクローリング処理を行うジョブです。

最終クローリング日時保存場所

ファイルライブラリクローラは最終クローリング日時をPublicStorageの以下のファイルに保存します。

- %PUBLIC_STORAGE_PATH%/products/im_contents_search/store/%テナントID%/last_crawling_date/iac\$filelibrary.json

差分クローリング

差分クローリング時の登録・更新対象

差分クローリング実行時にコンテンツの登録・更新の対象となるファイルの条件は以下の通りです。最終クローリング日時以降で以下のいずれかの条件を1つでも満たすファイルについて、コンテンツの登録または更新が行われます。

- 条件1 : 新たに登録されたファイル
- 条件2 : 保存先フォルダ、ファイル、説明、通知が更新されているファイル
- 条件3 : 付与する共有タグが1つ以上ある状態で共有タグが更新されたファイル



注意

最終クロール日時以降に共有タグをすべて付与解除して保存されたファイルは、コンテンツの更新対象ではありません。

ただし、共有タグがすべて付与解除されている場合でも、条件1・条件2を満たすファイルはコンテンツの更新対象です。

すべて付与解除されて更新対象にならなかったファイルを全文検索画面で検索結果表示した場合、付与解除された共有タグが表示されます。

削除クローリング

ファイルライブラリクローラが作成したコンテンツをすべて削除します。

また、最終クロール日時を "**2000-01-01 00:00:00**" に初期化して保存します。

再作成処理

ファイルライブラリクローラが作成したコンテンツをすべて削除し、作成対象のファイルのコンテンツを再度登録します。

コンテンツ作成対象

ファイルライブラリクローラは、ファイルライブラリ機能に登録されているすべてのファイルがコンテンツ作成対象です。

コンテンツの情報

ファイルライブラリクローラではファイル情報を以下の内容で登録します。

標準フィールド

No	フィールド名	設定値	備考
1	ID	iac_%ファイルID%	コンテンツを一意に識別するIDです。
2	TYPE	iac iac\$filelibrary	コンテンツのタイプです。
3	URL	なし	
4	ID_ORIGINAL	ファイルID	コンテンツの元データにおける一意なキーとなるIDです。
5	TITLE	ファイル名	コンテンツのタイトルです。

No	フィールド名	設定値	備考
6	TEXT	ファイル説明	コンテンツの主となるテキストデータです。
7	ATTACHMENT	添付ファイル名 添付ファイル内のテキストデータ	
8	RECORD_DATE	ファイルの更新日時	



注意

2019 Winter以前のバージョンでは、RECORD_DATEの設定値はファイルの登録日時が登録されます。

動的フィールド

No	フィールド名	設定値	備考
1	REGISTER_USER_CD_STRING	登録ユーザコード	
2	REGISTER_USER_NAME_STRING	登録ユーザ名	
3	UPDATE_USER_CD_STRING	更新ユーザコード	
4	UPDATE_USER_NAME_STRING	更新ユーザ名	
5	UPDATE_DATE_DATE	更新日時	
6	FOLDER_CD_STRING	フォルダコード	
7	FILE_SIZE_STRING	ファイルサイズ	
8	SHARED_TAG_CD_STRING_MLT	共有タグコード	
9	SHARED_TAG_NAME_STRING_MLT	共有タグ名	



コラム

タイトル (TITLE)、テキスト(TEXT)、添付ファイル(ATTACHMENT)に登録した内容が検索時に検索対象となるフィールドです。

ファセット

ファイルライブラリクローラではコンテンツ作成時に以下のファセット分類を適用しています。

ファイルライブラリ

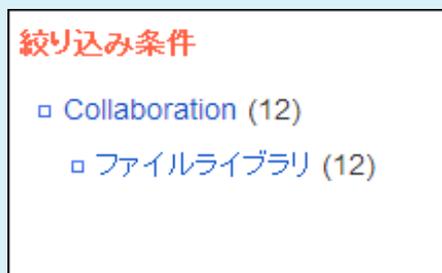
ファイルライブラリクローラで作成されたすべてのコンテンツに対して“ファイルライブラリ”というファセットを適用します。

コラム

ファイルライブラリクローラが全文検索画面に提供するファセットナビゲーションの例

全文検索画面の検索結果にファイルライブラリのコンテンツがある場合、以下の様なファセットナビゲーションが全文検索画面の左部に表示されます。

リンクを選択することで検索結果の絞り込み検索を行うことができます。



閲覧可能権限

作成されたコンテンツの閲覧を許可する権限は、クローラジョブ実行時点でフォルダに設定されているアクセス権と同じ権限が適用されます。

ユーザが検索を実行したときに検索対象となるファイルは、そのユーザに許可されているフォルダのアクセス権で「登録」または「閲覧」が許可されているフォルダ内のファイルです。

検索結果表示項目

ファイルライブラリクローラが作成したコンテンツの検索結果で全文検索画面に表示されるコンテンツの表示項目は以下です。

- タイトル（ファイル名）

タイトルのリンクをクリックすると、ファイルをダウンロードできます。

- ファイル更新日時
- 登録先フォルダ
- ファイルサイズ
- 登録者名
- 更新日
- 更新者名
- 共有タグ
- 要約

要約表示の指定をして検索した場合に表示されます。

要約は検索条件の文字列がカラーでハイライトされて表示されます。

**注意**

2019 Winter以前のバージョンでは、ファイル更新日時ではなく、ファイル登録日時が表示されます。

検索結果画面例

**6月新規受注報告.docx**

2013/06/21 18:30:56 Collaboration > ファイルライブラリ

サイズ：13KB 更新日：2013/06/21 18:30:56

登録者：青柳辰巳 更新者：青柳辰巳

6月新規 **受注** 報告.docx 6月 **受注** 報告書 調査結果の概要 **受注** 総額の動向をみると、25年5月前月比12%増の後、6月は5%減の81億円となった。

**注意**

「検索」画面に結果が表示されていても、以下の場合はファイルをダウンロードできません。

- 対象のファイルが既に削除されている場合
- 対象のファイルが保存されているフォルダに対するアクセス権が付与されていない場合
- ダウンロード処理の認可リソースに対して認可が許可されていない場合